

# 政務調査研究視察 報告書

報告者 稲垣 良美

視 察 日	平成19年 7月 24日 (火)
視 察 先	函館市
視 察 内 容	函館市芸術ホールについて
視 察 者	野村康治 稲垣良美 山本雅宏 蜂須賀喜久好 山崎憲伸 園山康男 計 6名

## <函館市芸術ホールについて>

### 函館市の概要

人口 294,264人  
面積 677.79km<sup>2</sup>  
世帯数 128,411世帯

### 建設の経緯

昭和57年 函館市北洋資料館が完成  
昭和61年 北海道立函館美術館を誘致・完成  
平成4年3月 市民ホール「建設懇話会」設置  
平成8年6月 市民ホール建設工事着手  
平成10年5月 芸術ホール供用開始



▲ 中原館長から説明を受ける

### ホールの位置づけ

『**限りなく音楽専用に近い多目的ホール**』ではなく、より多目的性格を持たせた『**音楽を主目的とする舞台芸術全般に対応する多目的ホール**』

### 施設概要

鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・地上4階  
敷地面積 13,098.5m<sup>2</sup>  
建築面積 4,015.7m<sup>2</sup>  
延床面積 5,945.7m<sup>2</sup>  
建築費 37億8,700万円  
財源内訳 北海道補助金 1億2,000万円  
起 債 33億1,000万円  
寄 付 金 2,700万円  
一般財源 3億3,000万円

### 施設の特徴

- 1) 転換可能な舞台(130席)を有している。音楽舞台 708席 多目的舞台 838席
- 2) ホールが中規模であることから、かんしょうがたじぎょうんの展開よりも、市民参加型・学習型の事業展開に重点を置いている。
- 3) 申し込み内容によって優先受付をしている。  
ア、音楽・演劇等と会議・講習会等の申し込みがあった場合は、音楽・演劇等を優先する。  
イ、又ギャラリーにおいて、美術作品等の展示とその他の催し物の同時申し込みがあった場合は、展示を優先する。

### 利用状況

年度	収容人数	使用料	ホール稼働率
平成10年度	125,000人	28,005,790円	65.6%
平成11年度	147,000人	23,537,044円	71.4%
平成12年度	144,000人	23,424,305円	78.2%
平成13年度	144,000人	25,287,891円	80.8%
平成14年度	146,000人	23,021,201円	82.5%
平成15年度	158,000人	23,004,228円	80.2%
平成16年度	137,000人	25,359,583円	85.8%
平成17年度	137,000人	23,347,878円	87.3%
平成18年度	131,000人	23,893,672円	89.4%

函  
館  
市

**施設管理経費予算**

人件費	58,100,000円	14名(市職2名 財団12名)
光熱水費	30,100,000円	
業務委託費 ※1	83,020,000円	技術・清掃・警備
その他	12,980,000円	
<b>経費計</b>	<b>194,030,000円</b>	

**※1 業務委託内訳**

舞台運営業務委託(6名)	34,090,000円
警備業務委託(ホール3名・駐車場1名)	16,760,000円
清掃業務委託(早朝7名・日中4名)	11,900,000円
その他業務委託 ゴミ収集運搬 機械警備 各設備保守建築物維持管理等	12,980,000円
<b>経費計</b>	<b>83,020,000円</b>

**課題・今後の展開**

オープン後9年が経過し、利用率はホール全般に向上しており、市民に親しませるホールとして一定の成果ははかられているが、設備の更新時期に当たり、維持修繕費が年々増加傾向にある。

今後はより魅力的な自主事業を展開するなど利用者の拡大を図る。

**〔感想・岡崎市への反映〕**

岡崎市民会館の老朽化が進み、中核市の市民会館としては、市民のニーズに応えられなくなっています。

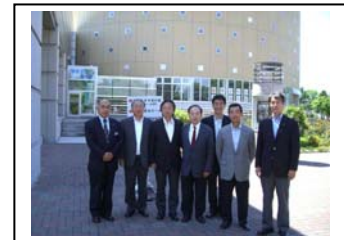
又、平成8年から供用開始をされているシビックセンターはホールの客席が400席という比較的小規模であることと並びにコンサートを開くには音響対策が十分なされていないこと等不備を指摘する声が数多く聞かれます。

以上のことから中核市にふさわしく、市民の文化芸術の振興に寄与する施設の建設が待たれるところです。

当芸術ホールはNHKホールの音響効果を手がけている永田音響設計に依頼しクラシック音楽の演奏を聞くことに配慮された800席規模のホールを有しそのうち130席は転換が可能な舞台とされ、函館市民の文化芸術の振興に大いに寄与しているものであります。

国が文化後進国である日本の現状を憂い、文化芸術振興基本法を策定されたことを受け函館市も文化芸術振興基本条例を策定するなど行政としての文化芸術に対する意識の高さもうかがえるところも、この施設を通じて感じる事が出来ました。

岡崎市もジャズのまちとして今後全国的に名前を広めようとする中、是非見習ってほしいと思います。



▲視察のメンバー